

市川シビックロータリークラブ会報



世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度

会 長：井上喜久男

会長エレクト：長谷川泰士

副 会 長：大塚 恵二

幹 事：宇田川純一



都古流一孝会 内田一孝作

◆出席委員会

鈴木委員

■会員総数：27名

出席計算に用いた会員数
23名

■出席会員数：18名

■出席率：78.2%

■前々回補正出席率：一

■メイクアップ：一

●ゲスト

市川市消防局
予防課 課長
八田 浩一様市川市消防局
予防課 主幹
染谷 大樹様

●ビジター

なし

■本日のプログラム

第1337回 2024.6.3

諸祝

会員卓話

(親睦活動・

ニコニコボックス委員会)

■次回のプログラム

第1338回 2024.6.17

会員卓話(会長エレクト)

第1336回 2024.5.27 例会報告

会長挨拶

井上 喜久男 会長



皆さん今晚は。

全国各地で偽造マイナンバーカードで携帯電話を乗っ取り、使われるという犯罪が続けざまに起きてます。

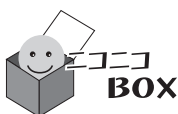
大阪府で市議員がマイナンバーカードを偽造され、スマホを乗っ取られました。仕事で外出中に、突然携帯電話がつながらなくなり、おかしいと思ってショップに問い合わせると名古屋の市内の店舗で機種変更されていますとのこと。乗っ取られた携帯のペイペイでチャージされ、そこからタクシー代、コンビニで買い物され、キャッシュレス決済も使われました。マイナンバーカードの個人情報、どこからどう漏れているかわかりませんが、今は「フィッシング詐欺」だけでなくやたらに住所や生年月日などをネットに乗せただけでも悪用されかねない時代。個人情報の管理はしっかりしておかなくてはなりません。

これは経済ジャーナリストの萩原博子さんのお話です。

幹事報告

宇田川 純一 幹事

特にありません。



宮本委員

- 市川市消防局予防課課長の八田浩一様および主幹の染谷大樹様、卓話
よろしくお願いたします。 井上会長/宇田川幹事
内田/上條/塚本/佐々木/竹内/山崎/古山/大塚/長谷川/
佐藤/鈴木/宮本/ 渡邊/片野/板橋/中村(裕) 各会員

卓 話

●卓話者



市川市消防局
予防課 課長
八田 浩一 様

●紹介者



上條 憲司 会員

消防局様よりプロジェクター投影分の卓話資料をCDでいただきました。
事務局に置いておきますので、ご自由に閲覧ください。



お知らせ

地震の時、自動で電気を遮断できる
感震ブレーカーをつけましょう

ご存じですか？
地震による火災の過半数は
電気が原因という事実。



東日本大震災における本震による火災金111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の火災でした。地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が原因したときに発生する火災のことです。

東日本大震災における火災の発生原因

電気関係	54%
その他	46%

※日本大震災学会「2011年東日本大震災 火災調査報告書」より作成

電気火災対策には、感震ブレーカーが効果的です。

「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感じたときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

主な感震ブレーカーの種類

感震ブレーカーは、延焼危険性や避難困難度が特に高い「地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に取り組むべき地域^(※1)」及び「防火地域・準防火地域^(※2)」において、緊急的・重点的な普及促進が必要とされています。

内閣府^(※3)において、感震ブレーカー(分電盤タイプ)の「地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に取り組むべき地域」の全ての住宅等及び「防火地域・準防火地域」の住宅等への設置が勧奨的事項となり、それ以外の住宅等への設置が勧奨的事項となりました。

※1 地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に優先的に取り組むべきとして地方自治体が指定した地域のことです。〔詳細については、火災調査地の電気火災の発生状況について「報告」(平成30年9月)を参照してください。〕

※2 都市計画決定に基づく「防火地域・準防火地域」の火災および被害の発生(火災に耐火建築物を除く。)です。

※3 「内閣府」は、電気設備法における電気設備の保安を確保することを目的として作成された消防関係です。設計、施工についての技術的な事項をすべて包括し、これをめぐる多くが改正したもので、1～10年電気設備関係等専門関係において作成されました。

感震ブレーカー設置の留意点

製品ごとの特徴・注意点を踏まえ、適切に選びましょう！

分電盤タイプ(内蔵型) 費用: 約5～8万円(標準的なもの)
※電気工事が必要

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感じ、ブレーカーを切って電気を遮断します。



分電盤タイプ(後付け型) 費用: 約2万円
※電気工事が必要

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感じ、ブレーカーを切って電気を遮断します。



コンセントタイプ 費用: 約5千円～2万円程度

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感じ、コンセントから電気を遮断します。



簡易タイプ 費用: 約2～4千円程度
※ホームセンターや家電量販店で購入可能(電気工事不要)

ばねの作用や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。



感震装置のはたらき【分電盤タイプの場合】

基本動作

地震検知後、3分が経過すると、主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。

地震検知

警報 ON(3分間)

通電

検知から3分後

警報 OFF

通電遮断

地震検知後3分以内に停電が発生した場合

復電直後に主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。

感震ブレーカーの設定に際しては、急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて取り組む必要があります。

- 生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、停電に耐えられるバッテリー等を備えてください。
- 夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などの照明器具を常備しましょう。

耐震対策等と合わせて取り組むとともに効果的です。

- 避難経路の確保等のために、建築物の耐震化や家具の転倒防止等に取り組まましょう。
- 復電する場合には、事前にガス漏れ等がないことの確認や、電気製品の安全の確認を行ってください。
- 復電後、揺れたような臭いを感じた場合には、直ちにブレーカーを遮断し、再度、安全確認を行い、原因が分からない場合には電気の使用を自粛することが必要です。
- 定期的な作動性能の確認や、必要に応じて部品等の交換を行いましょう。

この資料に関するお問い合わせ先

- 内閣府政策総務局(防災担当) 〒100-8914 東京都千代田区永田町1丁目6番1号 中央合同庁舎第8号館 TEL: (03)-5263-2111(大代表) ホームページ(<http://www.bousai.go.jp/jshin/syuto/denkikatasakaku/index.html>)
- 消防庁 予防課 〒100-8927 東京都千代田区霞が関2丁目1番2号 TEL: (03)-5263-7628
- 経済産業省産業保安グループ 電力安全課 〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号 TEL: (03)-3501-1742 ホームページ(https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/safety/safety/2015/10/270105-1.html)

感震ブレーカー購入に関して「電気工事を行うもの」は近隣の電気工事店へ、電気工事を行わないものは近隣の防災用品店等を取り扱うお店へお問い合わせください。



内閣府



消防庁



経済産業省

